

取扱説明書

KSDC4-19S カバー付ステンレス製携帯用まほうびん

このたびは弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。本製品を正しくお使いいただくために、ご使用前には、必ずこの取扱説明書をお読みのうえ、正しくお使いください。

各部の名称

●キャップユニット

- ロックバー
- キャップ
- 飲み口パッキン
- 飲み口
- プッシュボタン
- フタ
- フタパッキン

●本体

- 口がね
- 胴部
- 内びん
- 底板

●ボトルカバー

- ショルダーベルト
- ネームプレート
- ハンドホルダー

電圧にはワット消費性のある電圧のラベルを使用

※お読みになった後は、必ずいつでも確認できる場所に保管しておいてください。

お手入れの仕方

ご使用後はいつでも清潔にご使用いただくために必ずお手入れください。

本体

①汚れがひどい場合は、薄で薄めた食器用中性洗剤を柔らかい布に塗せ固く絞り、汚れを拭き取ってください。(アルカリ性洗剤・オレンジ系洗剤は使用しないでください。)
②乾いた布で十分に拭いてください。
③本体のまる洗い、つけ置き洗い等は絶対にしないでください。
※注意：絶対に自動食器洗浄機、食器乾燥機は使用しないでください。
※常湿はしないでください。
※塩素系漂白剤を使用しないでください。

内びん

①ご使用ごとに柔らかいスポンジできれいに洗い、十分乾燥させてください。
②ステンレスを使用していますが、水質や不純物などにより、サビのような赤い斑点ができることがあります。このような場合は10%ほどのお酢を加えたお湯を入れ約30分後、柔らかいブラシで内面をきれいに拭いた後、十分にすすぎます。
※保蔵するときは、汚れを落とすとして十分乾燥させてください。

キャップユニット

①ご使用ごとに柔らかいスポンジできれいに洗い、十分乾燥させてください。
②お手入れ際は2つのパッキンが正しく取り付けられていることをお確かめください。
※注意：絶対に自動食器洗浄機、食器乾燥機は使用しないでください。
※常湿はしないでください。(蒸気し、腐れなど故障の原因となります。)

ボトルカバー/ショルダーベルト

洗濯機、乾燥機の使用はお避けください。汚れた場合は水またはぬるま湯で薄めた中性洗剤を柔らかい布に塗せ、汚れを拭き取ってください。

症状	点検するところ	処置
保冷が効かない	十分に冷たい飲み物を入れていませんか。 飲み物の量が少なすぎませんか。	冷たい飲み物を入れてください。また、あらかじめ本体内びんを予冷しておくご効果的です。 水や飲み物の量を多くすると効果的です。
臭いがする	内筒物を長時間入れたままにしていますか。	ご使用後はきれいに洗い十分乾燥させてください。

ご使用方法

※熱い物を入れしないでください。内圧が上がり、キャップユニットがはずれたり、飲み物が溢れたりする恐れがあります。
※熱い飲み物が直接口内に入るため、やけどの原因となります。

- キャップユニットをはずす**
矢印方向へ回して、本体からはずします。(図1)
- 飲料水の量は目の位置まで**にしてください。(図2)
入れすぎると溢れやあふれの原因となります。
- 矢印方向に回して、確実にしめてください。**(図3)
- ロックバーを上げてプッシュボタンをロック解除**
1. ロックバーを上げてロックを解除し、プッシュボタンを押すと、キャップが開きます。
2. 飲み口に口をつけ、ゆっくりとがたもたげながら、飲みます。
- 本体を立てた状態でキャップをしっかりと閉じます。**※非常時等によるキャップアップを防止するため、ロックバーをプッシュボタンをロックした状態でおきます。

本体を立てた状態でキャップをしっかりと閉じます。非常時等によるキャップアップを防止するため、ロックバーをプッシュボタンをロックした状態でおきます。

フタパッキンのつまみを上にして、空気にわたってはめ込んでください。また、取り付け時指でまんべんなく押し、パッキンをつまんで、ゆっくりと押し固めてください。

キャップ裏の穴に、パッキンをはめ込みます。取り付け時は、パッキンをつまんで、ゆっくりと押し固めてください。

※フタパッキンを取り付ける際は正しい向きで取り付けください。

必ずお守りください。濡れやあふれはやけどや他のものを汚す原因になります。

●飲料水の保冷以外に使用しないでください。
●飲料の品質・変色、製品の故障や汚れを防ぐために下記事項をお守りください。

熱い物を入れしないでください。

※内圧が上がり、キャップユニットがはずれたり、飲み物が溢れたりする恐れがあります。
※熱い飲み物が直接口内に入るため、やけどの原因となります。

次の物は絶対に入れないでください。

- ドライアイス、炭酸飲料水等 (内圧が上がり、キャップユニットがはずれたり、内容物が吹き出る等危険です。)
- 牛乳、乳飲料、果汁等 (成分が固化した場合、ガスが発生し、キャップユニットが破損または閉鎖する恐れがあります。)
- みそ汁やスープ等、糖分を含んだもの (内びんはステンレスを使用しています。腐食の原因となります。)
- 薬液、お茶の葉等 (詰まる、溢れる等故障の原因となります。)

飲み物の量は目の位置までにしてください。

入れすぎると、飲み物があふれることがあります。

ストーブやコンロなどの火のそばに近づけないでください。

炎や熱源の危険があります。

ショルダーベルトを肩にかけておいたり、足元に踏まないでください。夏場などの危険性があります。

入れ下さず、飲み物があふれることがあります。

袋や食品の破損となります。

本体のつけ置き洗い、まる洗いはしないでください。

本体内部に水が入り、サビが発生したり、物を汚したりします。

濡らしたり、ぶつけたたり、強い衝撃を与えないでください。

洗面所へこみ、排水機能が低下することがあります。

フタパッキン・飲み口パッキンが正しく取り付けられていることを確認の上、確実にしめてください。

フタパッキン

飲み口パッキン

濡れの原因となります。

絶対にしてはいけないこと。

- 自動食器洗浄機・食器乾燥機は絶対に使用しないでください。(変形、水漏れ、又は破損の原因となります。)
- 運転しながらのご使用は危険ですので、おやめください。
- 本体、キャップユニットは煮沸しないでください。(変形し、溢れなどの原因となります。)
- 改造、分解、修理はしないでください。(故障や事故の原因となります。)
- ショルダーベルトを持って振り回したり、強く引っ張ったりしないでください。

ご注意とお問い合わせ

塩素系漂白剤、シンナー、ベンジン、食洗剤、フタパッキン、みそ汁、ジュース等は使わないでください。

水がこぼれたり、サビや故障の原因となります。

大きな水を入れる場合は押し込みます。小さくして入れてください。

バッグなどに入れる際は、万一の濡れを防ぐために手袋を装着するようにしてください。

キャップや飲み口の裏面を清潔にしてください。

キャップや飲み口の裏面を清潔にしてください。

●お茶を入れて長時間保冷した場合、お茶の色や風味が変わることがあります。これはお茶の成分が時間とともに変化するためのもので、人体には害がありません。

※お早めにお召し上がりください。

●内筒物を長時間保冷しないでください。(変形や腐敗の恐れがあります。)

●製品の構造上、温度が高いときにフタに水滴が付く(結露)することがありますのでご注意ください。

●底板を洗浄の際に無理にめくったりしないでください。はがれる場合があります。